

# 始良校区

# コミュニティ協議会だより

発行 令和3年7月1日  
号数 第19号  
事務所 始良市西餅田3311-1  
(始良市働く女性の家内)  
電話 73-8389 (火、木、金)

## 令和3年度事業のスタートにあたり

会長 大浦地 政廣

令和3年度もスタートしましたが、コロナの関係で「ふれあう機会」が足りない感じがします。始良市内においても、次第に感染者が増えていることもあって、当協議会の総会についても、3年度も書面表決という形で議案の承認をしていただきました。

2年度は、コロナウイルス拡大防止のため、多人数の集まる事業は中止せざるを得ませんでした。その中で作品展、SNSの講座、ミニ門松づくり、ふれあい教室、ウォーキング大会等を実施いたしました。

まちづくり事業は、「思川水系の野鳥に親しむ事業」「子ども見守り隊ふれあい事業」の2事業を行うことができました。

コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。オリンピック開催も迫っておりますが、どのように感染が収まるのか、広がっていくのか、予想もできない状況にあります。

コミュニティで予定していた9月までの行事は、見合わせることにいたしましたので、皆様のご理解をお願いします。

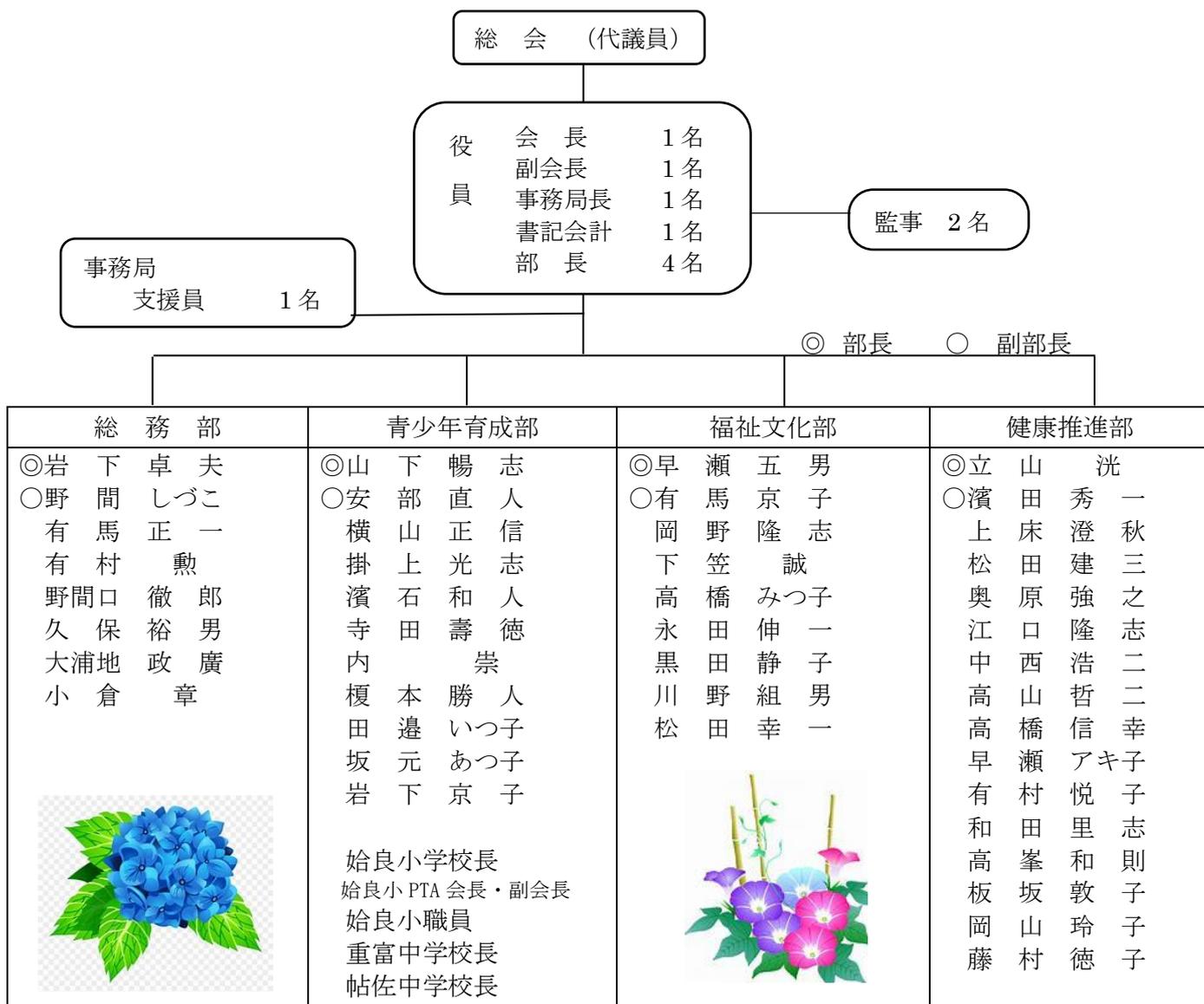
### ◇ 新役員体制

会長	大浦地 政廣	青少年育成部長	山下 暢志	監事	高山 哲二
副会長(兼事務局長)	小倉 章	福祉文化部長	早瀬 五男	監事	岡野 隆志
書記会計・総務部長	岩下 卓夫	健康推進部長	立山 洸		

### ◇ 令和3年度 主な活動計画

総務部	青少年育成部	福祉文化部	健康推進部
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 広報活動 (未加入者対策)</li><li>・ 広報誌の発行 (7月・12月・3月)</li><li>・ 各団体との連絡調整</li><li>・ 自治会事業との調整</li><li>・ 市への要望書提出</li><li>・ 地域防災活動</li><li>・ 環境美化活動</li><li>・ 思川美化活動</li><li>・ 国立公園ボランティア</li><li>・ 始良小PTAバザー支援</li><li>・ 提案型校区活性化事業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 重富海岸干潟の体験勉強会</li><li>・ お菓子作り</li><li>・ ミニ門松作り</li><li>・ ふれあい教室(3年生)</li><li>・ 夏の郷土に学び育む青少年運動</li><li>・ 春の郷土の学び育む青少年運動</li><li>・ あいさつ運動</li><li>・ 子ども見守り活動</li><li>・ スクールゾーン対策委員会</li><li>・ 始良市生涯学習フェア参加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 福祉施設研修(自治会長・民生委員・児童委員在宅福祉アドバイザー)</li><li>・ 校区敬老会</li><li>・ 芸術作品展</li><li>・ 赤い羽根共同募金運動</li><li>・ 鬼火焚き支援</li></ul> 	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 思川水系主催ウォーキング参加</li><li>・ 健康づくり講演会</li><li>・ ドッチボール大会7月31日</li><li>・ 6人制ソフトバレー大会8月29日</li><li>・ ペタンク大会8月29日</li><li>・ 健康支援グラウンド・ゴルフ大会10月14日</li><li>・ 三世代交流グラウンドゴルフ大会11月21日</li><li>・ ウォーキング大会 11月14日・2月19日</li><li>・ 校区対抗スポーツ大会(ソフトバレー・グラウンド・ゴルフ・ペタンク)3月14日</li><li>・ 健康づくりコーディネーターの活動</li></ul>

◇ 令和3年度 始良校区コミュニティ協議会組織



◇ 令和3年度収支予算

(単位 (円))

収 入 の 部			支 出 の 部		
区 分	予 算 額	内 訳 等	区 分	予 算 額	内 訳 等
繰越金	1,216,373	繰越金	事務費	614,000	事務用品他
市補助金	1,263,000	始良市交付金	総務部	600,000	広報活動費
他団体補助金	15,000	社会福祉協議会	青少年育成部	270,000	お菓子作り他
負担金	218,600	自治会負担金	福祉文化部	650,000	校区敬老会
雑収入	10,000	寄付金他	健康推進部	340,000	グラウンド・ゴルフ他
			予備費	248,973	
計	2,722,973		計	2,722,973	

スローガン (将来像)

緑あふれる自然と人とが調和し豊かな心を育む始良校区

～子どもから高齢者まで、みんなにやさしい安心安全な地域づくり～

始良校区まちづくりプランから

## 始良小交通安全教室への協力

始良小では4月14日(水)8:30~12:25まで、始良市役所・始良警察署・始良っ子見守り隊等の皆様のご協力により、交通安全教室が開催されました。

1・2・3年生は交差点の渡り方、4・5・6年生は自転車の乗り方の指導を受けました。この1年間、子ども達の安全を祈っております。(小倉 章)



## 「子どものあいさつ運動」に参加

始良小では、門礼や「大きな声であいさつする」運動に取り組んでいます。

4月7日(水)7時~8時まで、民生・児童委員の皆さんが、校門に集まり大きな声で子ども達に声かけをして、ふれあい活動を行いました。(野間 しづこ)



あいさつ風景



のぼりを掲げる民生・児童委員



民生・児童委員の皆さん

## 始良駅前のロータリーの環境整備

始良駅前のロータリーは、1月下旬から3月上旬まで菜の花一色の素晴らしい景色になり、始良駅利用者や地域の皆さんにも好評を得ました。

3月11日(木)に菜種の収穫と茎の除去を行い、4月22日(木)に耕耘をして向日葵の種一粒々々に心を込めてまきました。きれいな花が咲きますように、これからは楽しみです。(田中 まり子)



耕運機で耕す



畝を切る



ひまわりの種まき

### 第3回ウォーキング大会開催

3月7日（日）建昌城麓コースで距離約4.7kmのウォーキング大会を開催しました。

当日は小雨日和でしたが、子供37名大人51名の参加があり、楽しい1日を過ごしました。

このコースには、北斗神碑、雲門寺にあったとされる仁王像、島津季久供養碑、南方神社や大文字池等もあり、参加者からは「こんなところは知らなかった。」「1回だけでなく何回もやってほしい。」「楽しかった。」等の意見がありました。

なお、今年度は2コースの実施を予定しております。

（田中まり子）



ウォーキングの様子



南方神社



北斗神碑



雲門寺仁王像

### 始良駅南自治会の資源物分別収集の体験学習

去る4月28日（水）に始良駅南自治会は、始良市衛生協会会長表彰を受賞されました。

今回の表彰は、子ども会の児童を対象に、「資源物分別収集体験学習」を6年間に亘り実施してきた功績が認められたものです。早瀬自治会長は、子どもたちに「環境問題を考える」きっかけになればという信念のもと、始めたとのこと。

自治会と子ども会が連携して、生涯学習の一環として取り組まれた、貴重な青少年育成の事例として、コミュニティ協議会としても高く評価し、今後の地域活動の指針の一つとして活動の輪を拡げていければと思っております。（総務部）



体験学習の様子

## 思川の名の由来について

現在の思川の下流域は、ベッドタウン化による人口増で、スーパーや住宅や運送会社等の進出が見られます。中・上流域には田畑や山林が広がっています。

思川は、河長 17 km の間に本名川等の支流が数本あり、集水面積が約 60 km<sup>2</sup> とかなり広く、ひとたび大雨が降れば水害が発生する河川でした。1665 年完成の「思川用水の井堰」は、何回も洪水の被害に遭遇し、その都度、改修され現在に至っています。

現在の思川は 1811 年前後の薩摩藩内測量の伊能図には「綿瀬川」と記載があり、1851～1858 年の「薩摩沿海漁場図」には思川と記載されており、1815 年以降頃から「思川」と呼ばれるようになったようです。

伝説の一つによると、「昔、城下の三祖院というお寺に「おべん」という名の娘が仕えていましたが、ある日突然お寺を追い出されました。その後父親に娘を殺すようにとの使いが来て、父親は娘を河原に連れて行き、泣きながら娘を手にかけてとのことです。

その後、毎日のように河原に出て嘆き悲しむ父親の姿が皆の涙を誘い、いつしか「思川」と呼ばれるようになった。」とあります。

以前は、河原に墓碑が建立されていたようですが、洪水や河川工事の都度移されて、現在、その痕跡を城瀬橋の下流右岸沿いの用水路脇に見ることができます。

「おべんさん」の墓碑は、三祖院に出入りしていた当時の上原仏具店の子孫により、今でも花が手向けられています。(参考：平成 8 年 1 月の南日本新聞地域総合・始良市郷土誌 伝説の章など) (大浦地 政廣)



(現在の「おべんさん」の墓碑)

## 小瀬戸遺跡について

小瀬戸遺跡は、別府川と思川によって形成された沖積平野の水田地帯に、九州縦貫自動車道を建設することに伴い発見され、約 3050 m<sup>2</sup> の発掘調査を行ったものです(昭和 43 年～44 年)。(現在のクオラリハビリ病院の東側、建昌地域の団地に小瀬戸公園があります。)

この遺跡から発掘されたものは、奈良時代末期から平安時代にかけての生活跡が主体で、特筆されるのは、井戸 2 基(井戸の発見は鹿児島では初)、ヒョウタン、モチ、イチイガシ、ウメ、ヤブニッケイなどの種子が発見され、遺跡周辺の当時の食生活や自然環境を伺い知ることができます。

発掘された土器の中には、奈良時代以後の「仲家」「大伴」「原」「雄」「仲」「利」などの墨書土器や刻書土器、緑釉陶器に「伴家」という針書するものが出土しており、古代における生活跡というだけでなく、地方官衛等を想起させる古代地方政治の一遺跡とも考えられる貴重な遺跡です。

縄文時代や弥生時代の遺構は確認されていないが、縄文時代早期の前平式土器、縄文時代前期の深浦式土器、縄文時代晩期の夜臼式土器などの土器や石鏃、石匙、砥石などの石器が出土しています。

弥生時代の遺物は、中期該当の須玖式土器、磨製石鏃等が出土しています。(大浦地 政廣)



小瀬戸公園

## 思川の鯉のぼりライトアップ

思川の鯉のぼり祭りは、例年にぎわっておりましたが、昨年からのコロナ禍でイベントは中止になりました。

そこで、今年は5月4日と5日の19時～21時まで、多くの方のご協力を得てライトアップを行いました。

来場の子どもさんには、イケダパン(株)提供のパンのサービスもあり、2日間で300人を超える来場者がありました。昼間見る景色と、闇の中にライトアップされた景色との違いを楽しんでもらいました。帰り際の親子の会話「来年もまた見に来ようね」の言葉が耳から離れません。(小倉 章)



日暮れ前の鯉のぼり



ライトアップされた鯉のぼり

## 「第6回芸術作品展」のお知らせ

芸術作品展は、今回で6回目を迎えることとなりました。校区内の皆様に作品をお寄せいただきますようお願いいたします。

- 1 募集期間 10月1日～10月31日
- 2 展示期間 11月8日～11月27日(働く女性の家ロビー)
- 3 作品の種目
  - ・書道 ①毛筆 小学生(1年～3年・4年～6年)・一般  
②硬筆 小学生(1年～3年・4年～6年)・一般
  - ・写真 2Lサイズ～4切りサイズ  
①人物 ②風景(始良市内の風景とわかるものが条件)
  - ・短歌 ・俳句 ・川柳 ・絵画 ・絵手紙

※詳細については、後日、回覧等でお知らせいたします。

※カメラやスマホに写真眠っていませんか。

(福祉文化部)

## 健康づくりコーディネーターからのお話

コロナ禍で、外出を控えられている方もあるかと思いますが、外出しないことで、体の筋力が弱くなり病気になられる方も多いようです。

体を動かす、家族以外の方とお話をする、笑う、この3つが健康の秘訣ともいわれております。できるだけ家の外に出て歩きましょう。(健康づくりコーディネーター 藤村 徳子)

### 記事を募集しています

始良校区コミュニティでは、年3回「コミュニティだより」を発行しています。校区内の様々な出来事を幅広くお知らせしていきたいと思っています。「こんなうれしいことがあった」「こんなすばらしい事があった」また、元気な高齢者の紹介や児童生徒のがんばれる姿も伝えていきたいと思っています。様々な情報をお寄せください。また、取材にもお伺いいたしますのでご一報くだされば係り方からお伺いいたします。みんなで充実した内容の校区コミュニティだよりを作っていきましょう。

連絡先 始良市西餅田3311-1 (始良市働く女性の家内) 校区コミュニティ協議会事務局

TEL 73-8389 (火、木、金) fax 73-8395

メールアドレス aira-aikomi@po5.synapse.ne.jp